



小川小学校

# 学校だより

○ 考える子 ○ 優しい子 ○ 元気な子



令和4年3月16日 No.38

## 《3月11日を忘れない～東日本大震災～》

11年前の2011年3月11日、東日本大震災が発生しました。約2万近くの方が亡くなり、今なお行方不明の方もいらっしゃいます。被災した地域では、もうすぐ卒業式を迎えようとしていた時期でした。今、日本では新型コロナウイルス感染症の対策として、特に6年生は仲間たちと最後の小学校生活の思い出を作りながら、卒業式を創り上げることができない状況になっている地域もあります。これまででは考えられないことだと思います。あたり前があたり前でなくなることが、現実として起きています。

小川小学校の子どもたちも東日本大震災のときは、生まれていなかったり、小さかったり、おそらくその記憶はないと思います。ですから、そのことを大人が伝えなければなりません。東日本大震災のあとも様々な災害が起きています。「自分の命は自分で守ること」や「命の大切さ」を機会あるごとに考えさせていきたいと思います。また、時が経つことで、学校現場での危機意識や危機管理が薄くならないようにしていきます。

(写真は、当日の半旗や黙とうの様子です)



## 《東小川小学校の児童がスクールバス乗降の練習で本校に来校しました》

3月10日(木)、東小川小学校の1年生から5年生の児童がスクールバス乗降の練習をしました。スクールバスは、1便と2便に分かれて出発します。1便は、7時35分に東小川5丁目を出発して、小川小学校へ7時50分に到着します。2便は8時00分に旧上野台中学校前を出発して、8時20分に到着します。3月10日はその時間に出発しました。

私(校長)も、当日はバス乗降場所の東小川5丁目に行き、東小川小学校の児童と一緒にバスに乗りました。東小川小学校の児童は少し緊張していたようでした。そして小川小学校に到着すると、東小川小学校の児童はバスから降り、4月8日が戸惑わないために、各学年の昇降口の位置を確認しました。

本校の児童は、時差登校を実施している中、全員の児童が東小川小学校の児童を迎えることができませんでした。しかし、登校していた児童が、東小川小学校の児童が昇降口から帰るとき、温かい拍手で送ってくれました。児童の皆さん、ありがとうございます。



## 《オンラインで非行防止教室・薬物乱用防止教室を実施しました》

埼玉県警察非行防止指導班「あおぞら」の方を講師にお迎えして、3月3日(木)5校時に1年1・2組の児童が非行防止教室を行い、6校時に6年1・2組の児童が薬物乱用防止教室を行いました。1年生には飲酒、喫煙などの不良行為や暴力、窃盗などの加害行為を防止する内容を、6年生には覚醒剤や大麻など、法律で禁止されている薬物の恐ろしさなどについての授業を受けました。

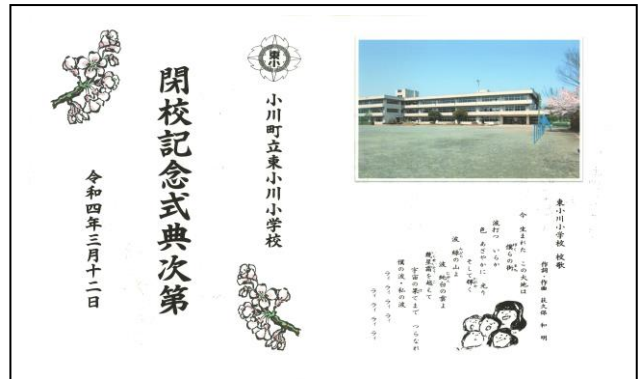




### 《東小川小学校 閉校式に出席しました》

3月12日（土）に東小川小学校の閉校式が行われました。感染症対策を行いながら、厳粛な雰囲気の中で実施しました。当日は、東小川小学校の1年生から6年生の児童65名も立派な態度で式に臨んでいました。昭和58年4月に開校して令和4年3月31日、39年間の歴史に幕を閉じ、閉校となります。閉校式で感じたことは、1つの学校を閉じることの重さを会場の空気からも実感しました。

そして、令和4年4月からは、東小川小学校の児童を迎えて小川小学校がスタートします。小川小学校も令和4年で150年を迎え、節目の年となります。児童、そして教職員が新たな気持ちでスタートが切れるよう努めていきます。



### 《6年生の卒業式練習をとおして、5年生が最高学年の自覚が高まっています》

卒業式は、5年生が在校生を代表して参加します。そのため、卒業式の練習も行っています。5年生は、6年生の練習する姿を間近に見て立派な態度に望んでいる姿勢から、最高学年の自覚が増してきたと感じます。5年生の呼びかけや退場曲の演奏など、とても素晴らしい態度で練習にも取り組んでいます。

3月23日（水）には、5年生が中心となって卒業式の式場を作成します。体育館の清掃、椅子並べ、卒業式に必要な備品を用意するなど大忙しになることが予想されます。こうした活動を通じて学校を支えるリーダーとしての自覚が芽生えます。教職員一同応援しています。

（次の写真は、5年生が卒業式の練習をがんばっている姿です）

